

1. 開催概要

- 開催日時 令和6年1月20日(土) 9時30分～17時00分
- 開催方法 国立オリンピック記念青少年総合センターでの対面開催とし、オンラインも併用
- 参加者 約300名(ユネスコスクール関係者(教職員)、教育行政関係者、研究者(大学、研究所等)、ユネスコ活動関係者、企業関係者、学生等)

※ユネスコ未来共創プラットフォーム事業「ユネスコウィーク2024」の一部として実施



盛山文部科学大臣からのビデオメッセージ

アーカイブ視聴

- アーカイブにて当日の配信動画を御覧いただけます。
ユネスコウィーク2024特設ウェブサイト:<https://unesco-sdgs.mext.go.jp/unesco-week-2024>

2. プログラム

大会テーマ:未来のユネスコスクールを考える—ASPnet70周年を迎えて—

- パネルディスカッション(未来のユネスコスクールを考える—ネットワークの活用で広がる学び)
- ポスターセッション (ユネスコスクールとしてのESDの取組内容および成果を共有)
- 分科会(以下の6つのテーマによる)
 - ①ユネスコスクール交流会—ユネスコスクールとしての活動を発展させていくために
 - ②ESD for 2030」をみすえた新たな評価へ—ACCU 評価事業をもとに
 - ③生徒たちと考える—地域や企業とつながる“越境した”ESD 活動
 - ④ユネスコスクールを動かす教職員とは?—活気のある学校づくりの秘訣
 - ⑤GIGA×ESD:デジタル時代のユネスコスクールを考える
 - ⑥Bringing living heritage to the classrooms in Japan



会場の様子

3. 成果

- パネルディスカッション、ポスター発表、分科会において校種や地域の課題に応じたユネスコスクールの取組が発表され、成果を広く発信する機会となった。
- 優良事例の共有や関係者間の交流を通じて、ユネスコスクール自身の行う取組を振り返るとともに、各校の活動の質の向上とネットワーク強化を図る機会となった。
- ユネスコ未来共創プラットフォーム事業における「ユネスコウィーク2024」の一部として実施することで、国内ユネスコ活動関係者間の連携が促進された。

テーマ

共に創造する未来 ～ユネスコ活動によるアプローチ～

開催概要

【日程】令和6年1月19日（金）～21日（日）

【開催方法】国立オリンピック記念青少年総合センター、オンラインも併用

【参加者】約640名（3日間の延べ人数・会場及びオンラインの合計）



次世代ユネスコ国内委員による
ユネスコユースフォーラム報告

国際シンポジウム

【目的】

「共に創造する未来」を考える上で、どのような分野横断的な取組が有効か、**国内外の実践事例をもとに多様なステークホルダーによる協働の相乗効果や意義**を議論する。

【プログラム】

- ◆ 基調講演
- ◆ 実践発表及びパネルディスカッション

第15回ユネスコスクール全国大会

【目的】

ユネスコスクールの優良事例の共有や関係者間の交流を通じて、**各校の活動の質の向上とネットワーク強化**を図る。また、**ユネスコスクール発足70周年**の節目として、成果・課題を振り返り、今後を展望する。

【プログラム】

- ◆ パネルディスカッション、ポスターセッション、分科会等

ユースフォーラム

【目的】

次世代ユネスコ国内委員会が中心となり企画。**ユース視点で気候変動に対するユネスコの貢献・役割の理解を促進**するとともに、**分野横断的な出会いの場**を創出する。

【プログラム】

- ◆ 第13回ユネスコ・ユースフォーラムの報告
- ◆ 基調講演／パネルディスカッション
- ◆ 分科会、グループディスカッション 等

アーカイブ視聴

- アーカイブにて当日の配信動画を御覧いただけます。

ユネスコウィーク2024特設ウェブサイト：<https://unesco-sdgs.mext.go.jp/unesco-week-2024>

成果

- ◆ 分野や地域、世代を超えた多様なステークホルダーの参加により、ユネスコ活動や持続可能な社会の実現に取り組む様々な連携が促進された。
- ◆ 教育、科学、文化、情報・コミュニケーション等、ユネスコ活動のさまざまな切り口から議論を行い、持続可能な未来の実現に向けた、ステークホルダーの協働を深める機会となった。
- ◆ 国内で実践されているユネスコ活動等の成果の国内外への発信につながった。